

— 総括表 —		
◆ 事業計画		
<input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性 戸建ての住宅地として開発され、同時期に入居された世代が一斉に高齢化している。住民同士の支え合いの仕組みづくりや地域行事を大切にする地域特性もあるが、担い手の高齢化、固定化が一様に見られており担い手不足の問題が深刻化している。一方、斜面地の開発や、戸建て住宅の世代交代、相鉄線のJR乗り込みによる西谷駅の利便性の向上も影響し、少しずつ若い世代の流入も見られ地縁の薄い世帯も徐々に増加してきている。多世代交流を促し、地域の活性化が求められている。		
<input type="checkbox"/> 今年度の重点的な取組		
新規	継続	— 具体的な取組内容 —
■	□	中高年の男性に向けて事業を企画することにより、現役世代から、地域活動に関心を持ってもらうようにして将来の担い手を発掘していくことに取り組む。
■		認知症当事者の方がスマイルカフェ（認知症カフェ）メンバーとして活躍している。新たなチームオレンジの取り組みと成るオレンジガーデンの花壇作りにも、本人が意欲的に参加できる環境づくりをする。
	■	福祉避難所の機能に関して、自治会町内会、地域団体へ広報啓発し、不動丸小学校地域防災拠点の訓練等に参加し、災害時の役割分担について共有し、災害時のネットワーク力を獲得していく。
	■	子育て世帯が孤立しないよう、幅広い年齢層で参加出来る事業を計画し、世帯間交流、情報交換の機会を提供していく。
	■	民生児童委員連絡協議会他、地域に向けて介護保険制度やケアマネジャーの役割について普及啓発していく。
◆ 事業報告・事業実績評価		
<input type="checkbox"/> 振り返り 地域デビューのきっかけづくりとして50-60代男性を主対象に講座「セカンドライフアカデミー」を開催した。連続講座の形で同じ登録メンバーで参加いただき、地域でボランティアとして活動する方にも講師として参加いただくなど、参加者が地域でのつながりづくり、地域活動やボランティアに興味を持ち今後の活動に繋がっていただけるよう意識した内容を企画実施した。 認知症当事者、家族、ボランティアと共にオレンジガーデンに定期的に集まり、年間を通した花壇づくりを実施した。認知症当事者のご参加に際しては意欲的に安心して参加いただけるよう、ケアマネジャーや地域包括支援センターと密に連携し、新規参加時は直接ご本人・ご家族にご説明したうえでご参加いただくことができています。 白根地区連合会防災訓練、不動丸小学校防災拠点訓練に参加し、災害時の地域ネットワークや役割分担について確認を行った。白根地域ケアプラザ広報誌「ふれあい広場」で防災拠点訓練参加の報告と福祉避難所の周知を行った。 子育て世帯の親子で参加できる「キッズアカデミー」「にここごサロン」「パパと遊ぼう」を実施した。各企画に地域の親子が参加され、親子で楽しめる体験や子育てに役立つ情報提供の場であるとともに、親子の交流・情報交換の場の提供ができた。一部企画は地域のシニア世代ボランティアの協力も得て、多世代交流の場にもすることができた。 民生委員・児童委員へ介護保険制度やケアマネジャー等の仕事について学んでいただく研修を実施した。民生委員・児童委員とより一層の連携を図るとともに、必要とする方へ情報や支援が届きやすくなるよう、今後も民生委員・児童委員を中心に地域に発信する機会を広めていきたい。		
<input type="checkbox"/> 区からのコメント ・地域ケアプラザの活動状況を把握するとともに、当事者が安心して参加できるような、オレンジガーデンの運営方法について地域ケアプラザとともに検討し、必要時助言していきます。 ・今後も、民生委員・児童委員がそれぞれの立場で出来ることや取り組んでいることを地域に発信し、ともに顔の見える関係性づくりが継続できるように、地域ケアプラザを支援していきます。 ・本人・家族の声に寄り添い、介護保険制度等では対応できない認知症当事者の社会参加というニーズに寄り添い取組を進めていきます。引き続き、関係機関や協賛店等と連携しながら取組を継続していただければと思います。		

令和5年度横浜市白根地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	福祉サービスご利用に関しては、複数のパンフレットやインターネットを利用して事業所選択への支援を行う。ケアマネジャーの事業所選択に際しては、旭区から提供される居宅介護支援事業者空き情報を提示し、本人、家族の希望に沿った選択が出来るよう助言していく。	個人情報保護、コンプライアンス、ヒヤリハット、事故防止に関する研修を職員全体研修で実施していく。毎朝の朝礼で個人情報の取り扱い留意点を全員で唱和。 正職員、準職員の別なくコンプライアンスへの取り組みに関して厳しく自覚を促していく。
実績	福祉サービスご利用に関しては、複数のパンフレットやインターネットを利用して事業所選択への支援を実施。ケアマネジャーの事業所選択に際しては、旭区から提供される居宅介護支援事業者空き情報を提示し、本人、家族の希望に沿った選択が出来るよう助言しました。	準職員を含め個人情報保護研修を実施。毎朝の朝礼時に個人情報の取り扱いの留意点を唱和し、当番制にて毎日扱いに関する宣誓を実施。又、正職員、準職員の別なく職員全体研修に事故防止ヒヤリハット研修、コンプライアンス研修も併せて実施。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	要介護状態に至らず暮らし続けられるよう目標を立てて介護予防支援計画を作成する。	住み慣れた地域、ご自宅での生活を安心して継続できるように、ご利用者様やご家族様の意向に沿いながら、適切な自立支援志向型のケアプランを作成する。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額
	【その他料金】	【その他料金】
職員体制	地域包括支援センター職員:常勤3名	介護支援専門員:常勤4名(専従3名、管理者兼務1名)
契約者数	182件	142件

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標			
実施体制	【実施日数】	【実施日数】	【実施日数】
	【提供時間】	【提供時間】	【提供時間】
	【定員】	【定員】	【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額

	【その他料金】	【その他料金】	【その他料金】
職員 体制			
契約 者数 等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和5年度「横浜市白根地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
収入の部						
指定管理料	17,576,179	0	17,576,179	16,319,732	1,256,447	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	50,250		50,250	79,944	△ 29,694	
雑入	27,170	0	27,170	26,430	740	
印刷代	27,170		27,170	26,430	740	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他	169,502		169,502		169,502	
収入合計	17,823,101	0	17,823,101	16,426,106	1,396,995	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
支出の部						
人件費	11,210,660	0	11,210,660	11,442,147	△ 231,487	
本俸	9,229,021		9,229,021	9,307,327	△ 78,306	
社会保険料	759,537		759,537	1,149,571	△ 390,034	
手当計	1,147,241		1,147,241	910,892	236,349	
健康診断費			0	0	0	
勤労者福祉共済掛金			0			ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	69,298		69,298	68,794	504	
その他	5,563		5,563	5,563	0	
事務費	1,619,888	0	1,619,888	1,394,057	225,831	
旅費	4,138		4,138	11,196	△ 7,058	公共交通機関交通費、ガソリン代
消耗品費	378,348		378,348	165,812	212,536	事務用品、消火器具 他
会議謝礼金			0	0	0	
印刷製本費	352,207		352,207	271,467	80,740	複合機カウント料金
通信費	667,395		667,395	649,436	17,959	電話代、切手代
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	45,527		45,527	36,540	8,987	賠償保険料
職員等研修費	3,405		3,405	6,514	△ 3,109	職員研修参加費
振込手数料	1,142		1,142	687	455	銀行振込手数料
リース料	69,528		69,528	58,380	11,148	PC・玄関マット 他
手数料	25,280		25,280	24,066	1,214	廃棄処分手数料
地域協力費	12,666		12,666	12,666	0	社会福祉協議会会費、在宅サービス協会会費
その他	60,252		60,252	157,293	△ 97,041	自動車保険料、車両修繕費、文書保管料 他
事業費	608,257	0	608,257	265,154	343,103	
運営協議会経費	42,000		42,000	7,386	34,614	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	488,837		488,837	257,768	231,069	
その他	77,420		77,420		77,420	
太陽光発電設備及び蓄電池保守点検	0	0	0	0	0	
太陽光発電設備及び蓄電池保守点検			0	0	0	
太陽光発電設備及び蓄電池修繕（追加）	0	0	0	0	0	
太陽光発電設備及び蓄電池修繕（追加）			0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）	0	0	0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）			0	0	0	
管理費	2,789,230	0	2,789,230	1,781,874	1,007,356	
光熱水費	1,118,027		1,118,027	915,644	202,383	
清掃費	1,217,530		1,217,530	387,277	830,253	
機械整備費	98,252		98,252	98,252	0	
設備保全費	355,421	0	355,421	380,701	△ 25,280	
空調衛生設備保守	112,970		112,970	112,970	0	
消防設備保守	52,140		52,140	77,420	△ 25,280	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守	26,070		26,070	26,070	0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	164,241		164,241	164,241	0	
共益費			0		0	
その他			0	0	0	
修繕費	474,000		474,000	159,384	314,616	
公租公課	1,121,066	0	1,121,066	1,021,821	99,245	
事業所税			0		0	
消費税	1,121,066		1,121,066	1,021,821	99,245	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	17,823,101	0	17,823,101	16,064,437	1,758,664	
差引	0	0	0	361,669	△ 361,669	

自主事業費 収入	50,250	0	50,250	79,944	△ 29,694	
自主事業費 支出	488,837	0	488,837	257,768	231,069	
自主事業 収支	△ 438,587	0	△ 438,587	△ 177,824	△ 260,763	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和5年度「横浜市白根地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括等＞

収入の部							(単位：円)
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明	
指定管理料【包括】	23,011,403	0	23,011,403	22,864,770	146,633	横浜市より	
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より	
指定管理料【チームオレンジ】	300,000		300,000	300,000	0	横浜市より	
指定管理料【生活支援】	5,862,749		5,862,749	4,938,172	924,577	横浜市より	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	19,751	△ 19,751		
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0		
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	4,850		4,850	34,957	△ 30,107		
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0	0	0		
雑入	16,000	0	16,000	16,000	0		
印刷代	16,000		16,000	16,000	0		
自動販売機手数料			0	0	0		
その他			0	0	0		
その他			0	0	0		
収入合計	29,349,002	0	29,349,002	28,327,650	1,021,352		
支出の部							
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明	
人件費	26,240,820	0	26,240,820	15,066,539	11,174,281		
本俸	18,054,858		18,054,858	9,807,910	8,246,948		
社会保険料	2,517,670		2,517,670	2,231,511	286,159		
手当計	5,270,894		5,270,894	2,675,939	2,594,955		
健康診断費	10,639		10,639	12,573	△ 1,934		
勤労者福祉共済掛金			0		0	ハマふれんど	
退職給付引当金繰入額	370,072		370,072	321,919	48,153		
その他	16,687		16,687	16,687	0		
事務費	714,426	0	714,426	899,694	△ 185,268		
旅費	35,576		35,576	45,220	△ 9,644	公共交通機関交通費、ガソリン代	
消耗品費	114,232		114,232	86,095	28,137	事務用品、消火器具 他	
会議賄い費			0	0	0		
印刷製本費	137,065		137,065	142,903	△ 5,838	複合機カウント料金	
通信費	211,505		211,505	208,813	2,692	電話代、切手代	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0		
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0		
その他			0	0	0		
備品購入費			0	0	0		
図書購入費			0	0	0		
施設賠償責任保険	12,102		12,102	9,713	2,389	賠償保険料	
職員等研修費	8,771		8,771	9,110	△ 339	職員研修参加費	
振込手数料	85		85	88	△ 3	銀行振込手数料	
リース料	61,597		61,597	52,715	8,882	PC・玄関マット 他	
手数料	6,720		6,720	12,605	△ 5,885	廃棄処分手数料	
地域協力費	32,666		32,666	32,666	0	社会福祉協議会会費、在宅サービス協会会	
その他	94,107		94,107	299,766	△ 205,659	自動車保険料、車両修繕費、文書保管料他	
事業費	1,527,090	0	1,527,090	1,158,564	368,526		
協力医	630,000		630,000	567,000	63,000		
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	107,240		107,240	25,972	81,268		
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	153,678	322		
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	300,000		300,000	114,396	185,604		
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	315,000		315,000	297,518	17,482		
その他	20,850		20,850		20,850		
管理費	740,666	0	740,666	473,969	266,697		
光熱水費	297,196		297,196	243,399	53,797		
清掃費	319,643		319,643	100,023	219,620		
機械整備費	29,348		29,348	29,348	0		
設備保全費	94,479	0	94,479	101,199	△ 6,720		
空調衛生設備保守	30,030		30,030	30,030	0		
消防設備保守	13,860		13,860	20,580	△ 6,720		
電気設備保守			0		0		
害虫駆除清掃保守	6,930		6,930	6,930	0		
駐車場設備保全費			0		0		
その他保全費	43,659		43,659	43,659	0		
共益費			0		0		
その他			0	0	0		
修繕費	126,000		126,000	42,367	83,633		
公租公課	0	0	0	0	0		
事業所税			0		0		
消費税			0		0		
印紙税			0		0		
その他			0		0		
その他			0		0		
支出合計	29,349,002	0	29,349,002	17,641,133	11,707,869		
差引	0	0	0	10,886,517	△ 10,886,517		
自主事業費 収入	4,850	0	4,850	54,708	△ 49,858		
自主事業費 支出	876,240	0	876,240	591,564	284,676		
自主事業 収支	△ 871,390	0	△ 871,390	△ 536,856	△ 334,534		
管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入	
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出	
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0		

※各大大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和5年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市白根地域ケアプラザ

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	5,085	5,157	-72	5,205	5,168	37	30,137	33,007	-2,870			0			0
	その他	0	0	0	0	42	-42	0	106	-106	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0		42	-42		106	-106			0			0
	収入合計(A)	5,085	5,157	-72	5,205	5,210	-5	30,137	33,113	-2,976	0	0	0	0	0	0
支出	人件費			0			0	21,412	21,069	343			0			0
	事務費	87	90	-3	87	91	-4	1,963	1,515	448			0			0
	事業費			0			0			0			0			0
	管理費			0			0			0			0			0
	その他	4,358	4,175	183	4,336	4,175	161	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	4,358	4,175	183	4,336	4,175	161			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	支出合計(B)	4,445	4,265	180	4,423	4,266	157	23,375	22,584	791	0	0	0	0	0	0
	収支(A)-(B)	640	892	-252	782	944	-162	6,762	10,529	-3,767	0	0	0	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和5年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	白根ケアプラザ大学	平成30年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	継続的に進める健康増進の講座の展開。新しい繋がりや通いの場となり、地域との関わりを増やす。	1:高齢者		地域住民を対象に、ロコモ予防・認知症予防・お口のお手入れ・栄養等を総合的に学ぶ。(6/15、7/20、8/17、9/21、10/19、11/16、12/21、1/18、2/15)	9	125
2	癒介市場～ゆかいマルシェ～	平成30年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護にかかわっている家族等が、社会的に孤立することのないよう、「学ぶ・共有・癒し」を目的に集える場を提供する。	5:地域		偶数月第3木曜日13:30～15:30 介護者同士の交流を中心に、年3回の介護者向けの研修を実施。	9	30
3	出張相談会@スマイルカフェ	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	スマイルカフェ参加者の個別相談に応じ、地域包括支援センターの機能の周知を図る。	5:地域		地域の方が運営する認知症を学ぶ・スマイルカフェにて、情報提供・個別相談コーナーを設置。必要時、個別相談に応じる。(スマイルカフェ開催時実施)	16	77
4	行政書士個別相談会	平成27年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	法律専門職に個別相談をする機会をケアプラザ内で設けることで、権利擁護の普及啓発を推進する。	5:地域		行政書士の先生2名に、各組40分程度ずつ3組を目安に無料でご相談に乗って頂く。(6/17 9/28 1/27)	23	12
5	終活講座・空き家問題	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	社会問題になっている、空き家対策を専門家から学び、終活の参考とする。	1:高齢者	5	高齢期にとって空き家問題は身近な事として資産価値の低下・放火の心配・不審者の侵入で治安の悪化、空き家のデメリットを知り、空き家にさせず自宅の利活用を学ぶ。	2	7
6	白根公園ハマトレ体操	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	コロナ禍の中における、交流の場の減少や運動不足による筋力低下を予防する目的。	5:地域		白根公園でハマトレサポーターズ・ボランティアの協力を得て、毎週月曜日に30分程度の運動習慣を実施。 また夏休み中の子供の参加も促し多世代交流を図る。(7/26～8月の毎月曜日、雨天中止)	5	121
7	ボランティアプラス	令和4年度	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	個別の困りごとに対応するボランティア団体を立ち上げる	5:地域	1	個別の対応として「洗濯物取り込み隊」グループが発足。メンバーの多くが高齢者なもののに対し依頼内容が草むしりや家具の移動など力仕事が多く対応が難しいことから、話し合いの結果、組織化は見送り、演奏活動など個々の活動のみ継続となった。	2	15
8	団体説明会	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	団体Ⅰ、団体Ⅱ向けに説明会を通して、施設利用についての確認事項等を周知する。	5:地域		団体Ⅰ・Ⅱに分けて実施。新型コロナウイルス移行に伴う施設利用方法並びに夜間利用・利用ルール等の確認を行う。7月30日実施。	1	41
9	ケアプラザ大掃除	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ボランティア活動の意味や大切さの意識を持って頂くことを目的に、福祉保健活動の一環として全登録団体に行っていただく。	5:地域		各部屋の清掃項目、担当グループをアナウンスして安全に作業を行う。活動を通じてサークル間の交流を図る。11月実施。	1	37
10	にこにこサロン	平成27年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	親子・参加者間に交流の場を提供する。年齢の幅が大きいことから入退出時間を自由にし気軽に立ち寄られるサロンにすることで、孤立した子育てにならないよう支援する。	3:養育者及び乳幼児		絵本の読み聞かせ、ミニイベント等を開催し、参加者間とボランティアとの交流を行う。毎月第3火曜日	12	286
11	横浜紀行 その六～十	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ひきこもり気味な高齢者や地域の方に外出の機会をつくり、地域愛を育て、健康づくりと仲間づくりの場を提供する。	5:地域		魅力溢れる横浜の各所を探訪し、横浜の歴史、地域を勉強しながら、仲間作りと健康を推進していく。4/7/14/8/8,10/5,12/7 実施。	5	76
12	書初め教室	平成30年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の子育て支援と、書初めを通して日本古来の伝統文化を継承すると同時に、幼児・小・中学生を持つ家庭にケアプラザを周知するきっかけとする。	4:子ども・青少年		習字が初めての幼児の書初め体験と、学校の書写に対し小・中学生の冬休みの課題に対応したアドバイスをを行い、書道に親しみを持ち、意欲的に取り組めるような内容で実施。12/25、1/5実施。	2	43
13	つるしびなまつり	平成28年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の方の手作りのつるし飾りやひな飾り、和小物等を展示し、地域の方の憩い、交流の場とすることを目的とする。	5:地域		エントランス壁面を利用して一定期間開催・展示する。密にならずに、楽しめる内容の利用方法を提示する。2/17～3/18実施。延べ1200名が鑑賞。	2	1,281
14	あさひプレイパークみんなの基地がやってくる	平成30年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	参加者親子にとっての交流の場とする。身体を使って遊び方を感じ、また遊びの中から親子のスキンシップの取り方を学ぶ。	3:養育者及び乳幼児		地域との共催事業 プレイヤーと一緒に、段ボール工作や新聞紙遊び、ねんど遊びなどを実施。 ⇒共催予定の地域団体と日程調整がつかず実施せず。	0	0
15	しらね将棋教室	令和4年度	4:共催(1と2)	2:発展させるねらい	将棋を学び、仲間づくりと多世代交流、講座終了後は、ボランティア、サロンへと発展させる	5:地域	4.5	アマ四段の講師の指導で将棋を学ぶ。初心者も経験者も楽しめる講座の開催。4/8,29 5/6,27 6/10,24 7/8,22 8/12,26 9/9,23 全12回実施。その後小学生も運営に関わる多世代の集うサークルとして自立。	12	100
16	居眠りカメラ写真講座	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	引きこもり気味な高齢者や地域の方の外出機会を作り、趣味・興味のある事等友人作りにチャレンジして頂くために「使っていない」「使用方法を忘れた」カメラへの興味、取扱いを学ぶ写真講座の開設	5:地域		講師による 1.写真の楽しみ・カメラの使用方法 2.どのように撮影・見せる楽しみ 3.構図の考え方 4.写真プリント作成、現像の方法等ステップを踏んだ講習。全4回実施。	4	42

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
17	初めてのルーシーダットン	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	高齢者の仲間づくりと健康寿命アップによる地域で生き生きと暮らす手助けをする	5:地域		運動が苦手な方・柔軟性のない方のためにヨガよりも比較的楽に行える「タイ式ヨガ」のルーシーダットンで血行促進・筋力アップ・身体の歪み解消なので健康寿命の延伸を図る全3回実施。	3	25
18	木工おもちゃで遊ぼう	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の方の作る木工おもちゃに見て・触れて楽しみ世代を超えた交流を深める	5:地域		手づくりの木工おもちゃ等実際に触れて、考えて楽しむ展示場所の提供と作り手の思いを感じてもらう。	1	89
19	キッズアカデミーともだちたくさんできるかな	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	同世代の子供達が音楽・衛生・手作りおやつ・植物等を体験する事で共感し、友達作りの機会を提供する。また、親同士の情報交換の場にもつなげていきたい	4:子ども・青少年		5月～3月まで11回開催。楽器体験、手洗い講座、羊ほり、工作、ダンスなど様々な体験講座を実施5/25, 6/8, 7/13, 8/10, 9/14, 10/12, 11/9, 12/14, 1/11, 2/10, 3/14	11	241
20	英語でリトミック	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	同世代の子供達が音楽に合わせて身体を動かし、楽しみながら英語に親しむ場を提供する。未就園児の交流の場とコミュニケーションの楽しさ、異文化に触れる楽しさを学ぶ。	4:子ども・青少年		講師の指導で音楽に合わせて英語を学びながらリズム体操を行う。10～2月(月1回、計5回開催)⇒事前ヒアリングでニーズが少なかったため実施せず	0	0
21	出張・介護保険説明会	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護保険制度の普及啓発により、予防的利用を促進し健康寿命の延伸への動機づけをする。	5:地域		地域の方々が集まる場に向き、「介護保険制度とは？」をテーマに介護保険制度の説明会を実施。	1	14
22	出張・認知症サポーター養成講座	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症サポーターの活動推進と認知症の本人と家族を見守る地域づくりを進める。	5:地域		地域の方々が集まる場に向き、認知症サポーター養成講座・ステップアップ研修を行い認知症の本人・家族が暮らしやすい地域を目指す。	1	23
23	夏休み応援企画	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	夏休みの小学生の余暇支援ケアプラザの場を活かして、講師の指導の下、工作・調理に親子で取り組んでもらい、学校以外での交流の機会を楽しんでもらう。	4:子ども・青少年		調理8/2(九龍球づくり)と地域の木工ボランティアを講師にコロコロ木工おもちゃづくり(8/19)を開催	2	47
24	パパとあそぼう	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザで講座を開催することで、子育て家庭を支援すると共に男性を巻き込んだ地域の繋がりを作るきっかけを作る。	5:地域		講師を招いて・絵本の読み聞かせ・体を使った遊びについて学び、グループワークも取り込むことで交流、情報交換を実施。全2回。	2	27
25	セカンドライフ・アカデミー	令和5年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	現役世代が仕事以外に興味を持って取り組み将来的に地域力となるサークル化を目指して現役世代の中高年男性を対象に講座を開催。そこから、地域活動を知る起点を目指す。	5:地域		11月から翌年3月まで全5回の講座。蕎麦組合・白根陶芸教室・住まいの応援隊からの講師による蕎麦打ち・焼き物、包丁研ぎの講座を開催。	6	34
26	やろう！チャンスだ！！ポールウォーキング	令和5年度	4:共催(1と2)	2:発展させるねらい	ニーズの高いウォーキングに関して、講師を招き開催後、自主化、サークル化を目指す。	5:地域		担当圏域ではあるが、ケアプラザから距離が有る自治会へポールウォーキングの講師を招いて出張講座を開催後、実際に歩く会を開催。健康づくり、介護予防を目指す。	1	8
27	オレンジガーデン(チームオレンジ)	令和5年度	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	横浜市チームオレンジモデル実施。認知症本人と家族の社会参加の場づくりと仕組みづくり	5:地域		老人福祉施設福寿荘の中庭を借りて地域のボランティア、認知症当事者、家族と共に、ガーデンングを実施。地域の中で住民主体のチームオレンジの活動に成ることを目指す。	19	187
28	ケアプラザ作品展示会	令和5年度	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	日頃活動頂いている団体を地域の方々を知ってもらい、参加並びに新サークル発足及び団体間の交流を図ってきたい。	5:地域		・10月から申込を募集。参加10団体。展示希望作品を館内に展示。 ・1/15～1/31観覧者は662名	1	550
29	認知症VR体験会	令和5年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	横浜市チームオレンジモデル実施。体験を基に認知症を学び、気づき、優しくなれる、きっかけとする	5:地域	6.7	9/18(月) 13:30～14:30 ①医療・介護従事者 14:30～15:30 ②認知症に携わる家族 15:30～16:30 ③一般の方	1	30
30	白根ウォーキング	令和5年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	筋力アップ・認知症予防・姿勢改善を目的とした健康づくり並びに地域交流の機会提供	5:地域		ウォーキングセミナーを白根根友自治会館で実施。ポールウォーキング振興会のコーチスタッフ等に実技指導。1・2月今宿東公園コース及びふるさと尾根道コースにてウォーキングを実施。	3	49
31	ドキドキハロウィン	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	未就園児対象にした子育て支援事業。太陽の子白根保育園の園児と共にハロウィンのイベントを楽しみながら交流する。	4:子ども・青少年		ケアプラザから帷子川広場まで、仮装でウォーク。道中3か所でゲームしながらスタンプを集め、最後に記念写真を撮影。	1	34
32	スタンプラリー(チームオレンジ)	令和4年度	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	旭区徘徊SOSネットワーク協賛店を巡りチームオレンジの活動の周知と安心して暮らせる町白根を体感する。	5:地域		白根カーニバル等でスタンプラリーシートを配布。旭区徘徊SOSネットワーク協賛店22店舗を巡るスタンプラリーを実施。	1	300
33	健康歩き方講座	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	・地域の方々の歩き方による健康づくり・ウォーキングへの更なるレベルアップと知識向上並びに交流の場の提供	5:地域		1月・ウォーキングの基本を学び(健康効果、歩き方、呼吸、姿勢)・歪み歩きの姿勢チェックと整える運動(2回目への改善含む)2月・姿勢改善点の確認・ウォーキング	2	31
34	白根ポッチャ	令和5年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	寒い冬場、体を動かす機会とする。気軽にできるあさひポッチャを体験し交流を図る。	5:地域	4	あさひポッチャの練習後、チーム対抗戦を行う。上白根北中2年生の職場体験を受け入れ、一緒に講座を行った。	1	10

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
35	ゆるスポーツ	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	不動丸小学校5年1組より依頼。校外学習を通じて、地域を知る、繋がる、交流のきっかけづくりとなるよう支援する。	4:子ども・青少年	1, 5	児童が考案する「ゆるスポーツ(誰でもできる交流するためのスポーツ)」を地域の幼児用/大人用に紹介し、参加してもらおう。午前:幼児用(太陽の子白根保育園児対象)午後:大人(地域)各3種目を紹介、体験してもらい、交流を図った。	1	83
36	不動丸小支援級クッキーづくり	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	不動丸小学校の校外学習として、地域を知る、繋がる、交流のきっかけづくりとなるよう支援する。	4:子ども・青少年	2	ケアプラザの調理室、多目的室を利用し、白根学園のぞみの指導の下、不動丸小学校支援級の全学年(33名)と先生7名(支援員含む)でクッキーづくりを体験した。	1	40
37	(チームオレンジ)映画上映会	令和5年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	横浜市チームオレンジ モデル実施。認知症に対する正しい理解の普及啓発。	5:地域		Grasp(若年性認知症デイ)の方による演奏 若年性認知症をテーマにした映画鑑賞(オレンジ・ランプ)を実施。	1	40
38	(チームオレンジ)オレンジウォーク	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	旭区徘徊SOSネットワーク協賛店を巡るスタンプラリーの最終日(11/4)に地域活動交流の自主事業として改めて募集をかけた団体を巡る。	5:地域		オレンジウォーク最終日として、改めて参加者を募集。 歩き方講座を開催し、その後集団でウォーキング。	1	12
39	旭ふれあい区民まつり 地域ケアプラザPRコーナー 出展事業	平成24年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	ブース来場者に地域ケアプラザについて知っていただくための機会とする。	5:地域		・パネル展示(ケアプラザの機能及び施設職員(職種別)の役割を紹介) ・地区別計画及びケアプラザ広報紙の配架 ・ゲーム企画(クイズ・輪投げ) ・啓発グッズ配布	1	700
40	出張・認知症普及啓発講座	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	認知症の普及啓発と、グループワークを通して地域間の交流を図る。	5:地域		相友自治会でさくら会が運営している。おしゃべりサロンにて、認知症の普及啓発講座を2/4実施。	1	22
41	興和台体力測定	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	体力測定を行い、自身の体の状態を客観定期に知る機械を作る。	1:高齢者		興和台シニアと共催し。体力測定を3/14実施。	1	26